



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

●群馬地名由来の探求●



至仏山頂付近から臨む尾瀬ヶ原と燧ヶ岳 (H25.8月撮影)



まち's クリ

【編集長の一枚】
逆さ燧ヶ岳
(H25.10月撮影)



尾瀬ヶ原から臨む至仏山
(H25.10月撮影)



マーチィ

ねえ、マーチィ。めずらしい高山植物がたくさん咲き、
多くの登山者を魅了する“尾瀬”について教えてクリ!

尾瀬とは、群馬県・福島県・新潟県の3県にまたがる2,000m級の山々に囲まれた盆地のことなんだよ。国立公園に指定されていて、本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原に尾瀬沼、日本百名山である至仏山や燧ヶ岳と、貴重な自然がたくさん残っているため、日本百景にも選ばれているんだ。昔は、尾瀬沼のことをワセヌマ(早稲沼)と呼んでいたんだ。ワ・セとは、「浅瀬を蛇行して流れる川」という意味で、この「ワセ」が「オゼ」となり、文字が「尾瀬」に統一されたんだよ。尾瀬という名前は、曲がりくねった川や沢がたくさんある尾瀬ヶ原をもとにし、地域一帯を表す地名になったんだよ。

参考資料:「わたしたちの地名くま」(社)群馬県子ども会育成団体連絡協議会発行

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

佐藤 光将



佐藤光将さん(一番左)



講座風景

私が「ファシリテーター」という言葉を知ったのは一緒に伊勢崎市の景観サポーターをしている父がパートナーネットワーク講座を受講したのがきっかけでした。その話を聞いているうちにファシリテーターに興味湧き、それならばと私も24年度の講座に参加させて頂きました。

講座はまさに聞くとやるとでは大違い、入門編で大下先生の講義を受けている時はファシリテーターが何をやるのかどのような立場なのか理解したつもりになっていたのですが、ワークショップでいざ自分の番になると何をどう進めたら良いのか分からなくなり水先案内人としての役割を見失ってしまいました。

しかし同時にファシリテーターの進行次第で話し合いを上手く進め多くの人意見に答える事ができると言う事を実感しました。その後発展編、応用編と参加者の方々とワークショップを重ねて行くと様々な人の目線に立って考えると言う事が出来るようになり、目標とする落とし所も見えてくるようになりました。

また、応用編では私の住んでいる伊勢崎市を舞台に「まち歩き」が行われ普段見慣れた風景を改めて新鮮な気持ちで見ることができました。大下先生を始め事務局の皆様、一緒に講座を受けた方々には大変お世話になりました。おかげさまで無事、「群馬県まちづくりファシリテーター」の認定を頂く事が出来ました。有難うございました。今後この経験を多くの場面で活かしていければと思います。

マーチィの掲示板

『前橋市からきた真下さん』



今年の4月より人事交流職員として前橋市から派遣され、群馬県都市計画課都市計画係に配属されました真下と申します。

都市計画決定に関する業務に携わっており、配属から早いもので半年が経過しました。前橋市でも都市計画決定に関する業務に携わっていましたが、県ではより広域的な観点から都市計画を検討するため、群馬県全体のあるべき都市像を考えるようになり、視野が広がったように思います。人口減少、超高齢化社会の中で、群馬県民が暮らしやすい持続可能なまちとなるよう、都市計画行政職員として努力していきたいと思っております。

マーチィの独り言



趣味は温泉巡りで、群馬県内はもちろん、様々な地域の温泉に行っています。先日は山梨県西八代郡市川三郷町の「みたまの湯」に行ってきました。昼は甲府盆地の街並み、夜は夜景が眼下に広がり、温泉に浸かりながら楽しめます。まさに、丘の上の特等席。たまには、高い場所からまち全体を見ることも良いなと感じました。

(写真:ホームページより)

編集担当 新木

